

お遊び感覚 花壇手入れ



西区会体育館グループ

ボランティア最前線

「お遊び感覚で、気楽。花壇の手入れは全然、苦になりません。楽しい」――。西区会の神戸市立西体育館整備グループ(徳増芳男代表=生13期)のメンバーはのんびりと話してくれました。

よく晴れあがった5月27日朝、取材に伺いました。平成26年5月から毎月第4水曜日午前9時から11時(冬は10時~12時)まで、12、13人が参加、汗を流しています。メンバーは檜野台、竹の台、春日台、美賀多台の地元のほか、桜が丘、押部谷など遠方からも駆けつけています。

向井利隆館長は、小学校校長退職後、神出自然教育園の責任者となり、グループ〈わ〉の活動をよく知っていました。昨年春、赴任した折、この花壇を世話する人は館長1人だけで、とても世話しきれない。そこで〈わ〉本部を通して西区会に花壇の整備をお願い。西区会が幹部会や区会便りでメンバーを募り、十数人が手を挙げたといいます。館長は「体育館の稼働率は96%。市民のみなさまが汗を流した後、花壇の美しい花に足を止め、ほんと、安らいでいただけたらと願っています」と話していました。

この花壇は神戸市の市民花壇に指定されており、毎年15000円の助成金(最高)と年に3回、花の苗をいただけます。5月はマリーゴールド、8月はなでしこ、11月はパンジー。この日はマリーゴールド6箱240本を植え付けました。女性2人は花柄摘み。これが実

を結ぶと、花に栄養が回らなくなるといいます。1時間足らずで完了。生垣を短く切りそろえ、背が高い木に登り、枝も切り払いました。苗への水やりは体育館側がやります。



テーブルを囲んでティータイム。館長が冷たい飲み物を提供、メンバーが持ち寄ったお饅頭などが出ました。健康、食べ物のこと、人のうわさなど話の花が咲きます。

庭木用バリカン、熊手、ほうき、ジョウロ、バケツ、ホース、ネコ車など園芸用の道具は体育館が揃えています。メンバーは体を運ぶだけ。活動日が毎月第4水曜日と固定されているので、スケジュールの調整も楽になります。

山本孝治さん(福14)は「地元の体育館なので、世話のしがいがある。センスがなく女性陣に相談しながら花の配置などを考える」、木村敏夫さん(園12)も「気持ちよく働いている。体を存分に動かし、ボケ防止にもなる」と話してくれました。この日、メンバーになったばかりの樋口幸男さん(美工19)も「みなさんと、仲良く働きたい」と語っていました。

※西区会のほか、長田区会でも昨年10月から市立西市民病院の花壇の植栽管理を月に1回、実施しています。花の苗の植え付け、草引き、追肥などです。

(取材・写真 永野 知己)